

防府競輪活性化計画  
(素案)

令和 2 年 1 0 月

防 府 市

産業振興部競輪局



## 目 次

### I 防府競輪活性化計画

- 1 策定の目的
- 2 計画期間

### II 防府競輪の現状と課題

- 1 施設の現状
- 2 経営の現状
- 3 外部要因による環境変化
- 4 防府競輪の課題

### III 防府競輪活性化に向けてのコンセプト

### IV 活性化に向けた方向性と取組

- 1 交流の輪が広がる競輪場
- 2 快適で利用しやすい競輪場
- 3 安定した経営を目指す競輪場

### V 施設整備

- 1 施設整備の方向性
- 2 各施設の整備内容
- 3 周辺施設の整備方針

## I 防府競輪活性化計画

### 1 策定の目的

防府競輪の舞台である防府競輪場は、1949年（昭和24年）9月22日に開設され、本年9月に71周年を迎えた。その間、市の一般会計へ約50億円を繰出し、市財政に貢献するとともに地域経済の活性化にも寄与してきた。

車券売上が平成9年をピークに減少するなど厳しい状況にあったが、ここ数年は、インターネットなどによる車券購入やお客様のライフスタイルに合わせたナイトー競輪やモーニング競輪の開催などにより、売上、収益ともに回復傾向にある。さらに、地元選手の目覚ましい活躍が追い風となり、防府競輪への注目度が高まっている。

本計画は、公営競技の収益による市財政への貢献はもとより、スポーツの振興や観光振興などに寄与し、防府競輪場を市民に親しまれる場とすることを目的として策定するものである。

### 2 計画期間

令和3年度から令和7年度までの5年間とする。

## II 防府競輪の現状と課題

### 1 施設の現状

#### (1) 防府競輪場

##### ① 施設の概要

施設名：防府競輪場

所在地：山口県防府市国分寺町8番2号

開設年：1949年（昭和24年）

管理施行者：防府市

収容人員：8,500人（消防法による）

座席収容人員：2,037人

敷地面積：35,026.46㎡

用途地域：なし（市街化調整区域）

##### ② アクセス

防府競輪場は、JR防府駅から北に約2km、日本三大天神の1つである防府天満宮に程近い、標高約45mの高台にある。

公共交通機関である路線バスのバス停が付近にないため、本場開催中はJR防府駅から無料バスを運行している。

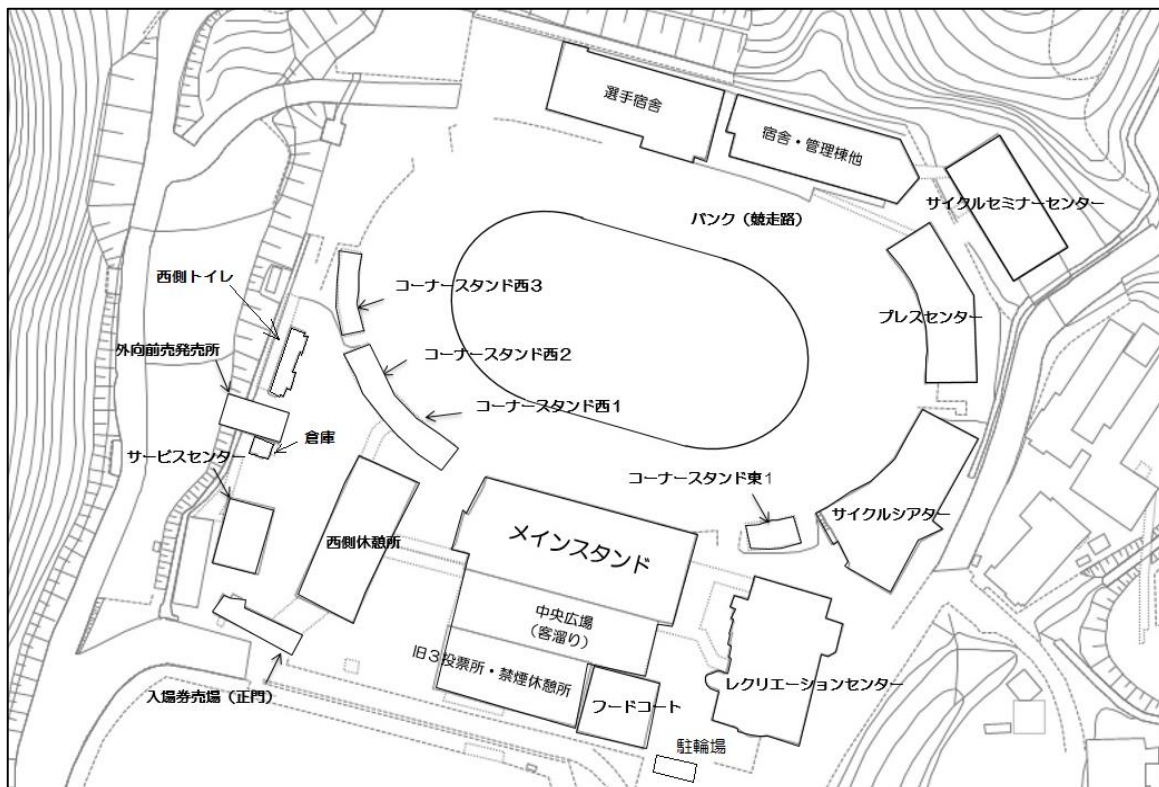
③ 各施設の状況

現在使用している防府競輪場の施設は、最も古いものでは使用開始から約半世紀が経過しており、建物及び設備機器等の老朽化が顕著になっている。各施設の状況は以下のとおりである。

【主要施設一覧】

名称	延床面積	建築年	構造
メインスタンド（開催本部・第3投票所を含む）	3,353.58 m <sup>2</sup>	1967(昭和42)年	鉄骨／鉄筋コンクリート
選手宿舍棟	2,717.52 m <sup>2</sup>	1999(平成11)年	鉄筋コンクリート
選手管理棟	2,219.68 m <sup>2</sup>	1995(平成7)年	鉄筋コンクリート
サイクルセミナーセンター	928.60 m <sup>2</sup>	1981(昭和56)年 改築 1994(平成6)年	鉄筋コンクリート
プレスセンター	852.17 m <sup>2</sup>	1995(平成7)年	鉄骨
サイクルシアター	1,682.41 m <sup>2</sup>	1997(平成9)年	鉄骨
レクリエーションセンター	1,642.90 m <sup>2</sup>	1990(平成2)年	鉄筋コンクリート
フードコート	225.90 m <sup>2</sup>	2006(平成18)年	鉄骨
西側休憩所	679.39 m <sup>2</sup>	1975(昭和50)年	重量鉄骨
サービスセンター	213.99 m <sup>2</sup>	1979(昭和54)年	鉄骨
コーナースタンド東1	63.00 m <sup>2</sup>	1969(昭和44)年	鉄骨スレート
コーナースタンド西1	75.04 m <sup>2</sup>	1949(昭和24)年	鉄骨スレート
コーナースタンド西2	93.78 m <sup>2</sup>	1949(昭和24)年	鉄骨スレート
コーナースタンド西3	78.66 m <sup>2</sup>	1966(昭和41)年	鉄骨スレート
外向前売発売所	126.03 m <sup>2</sup>	2004(平成16)年	鉄骨
バンク（競走路）	周長 333.333m	2018(平成30)年	アスファルト

【施設配置図】



a メインスタンド

1967年（昭和42年）に整備されており耐震性に問題がある。

1・2階が投票所、3階が特別観覧席となっている。4階には開催本部、審判室など中核となる施設がある。



b 選手管理棟・選手宿舎棟

それぞれ平成7年・平成11年に建築された比較的新しい施設であり、出場する選手を管理する施設である。



c サイクルセミナーセンター（事務所）

1階が競輪局事務所、2階は自転車競技団体等の倉庫として使用されている。



d プレスセンター

1階は競輪選手会事務所、ローラー台などの設備を備えた練習室等、2階は開催時に専門紙の記者が詰めるプレスセンターとなっている。



e サイクルシアター

冷暖房完備で、1階が投票所、2階が有料席、3階がイベントホールになっているが、エレベーターを備えていないため、高齢者や障害を持っている方には、不便である。



f レクリエーションセンター

冷暖房完備で、1階が投票所、2階が計算センター、3階が特別来賓席となっている。場外のナイター競輪開催中はレクリエーションセンター1階のみを開場している。



g フードコート

建築年が最も新しい建物である。食堂が2店舗入居可能であるが、令和2年度は、1店舗のみとなっている。



h 西側休憩所

1階は、本場開催時にメインスタンド3階の特別観覧席指定席券の販売所やイベント会場として、2階は関係者休憩所及び倉庫として使用されている。



i サービスセンター

開催時には来場者の案内サービスをしており、夜間は宿直担当の詰め所になっている。東側の投票所と離れており、各施設との連絡に時間がかかる。



j コーナースタンド（東1、西1・2・3）

屋根付きのコンクリート製観覧席である。屋根部分が老朽化しており、安全性に問題がある。基礎部分はバンクの土留めとしての役割を果たしている。





k 外向前売発売所

競輪場西側を南北に走る市道に駐車場を介して面しており、自動車で行くまで来られるため便利である。早朝7時20分から発売しているが、売上げアップに繋がっていない。



1 バンク（競走路）

平成30年度に全面改修工事を完了しており、バンクの一部を防府競輪のイメージカラーである「幸せます」のピンク色で着色している。



④ その他施設・設備について

m 観覧席、モニター観覧席、投票所

来場者が利用する観客席やモニター観覧席の整備状況は下表のとおりである。また、車券を購入する投票窓口については、各施設毎の投票窓口数及び自動発払窓口数を下表で表している。観覧席数は合わせて1,518席あるが、席数が来場者と比べて過剰となっている。



【観覧席数】

施設名	場所	席数	備考
メインスタンド一般席	メインスタンド 2 階	774 席	無料
メインスタンド特別観覧席	メインスタンド 3 階	235 席	有料
コーナースタンド	東 1、西 1、2、3	441 席	無料
サイクルシアター	2 階・特別観覧席 A	68 席	有料
合計		1,518 席	

【モニター観覧席数】

施設名	発売場座席数
メインスタンド中央広場	158 席
メインスタンド禁煙室	38 席
サイクルシアター 1 階	60 席
サイクルシアター 2 階（特別観覧席 B）	70 席
レクリエーションセンター	193 席
合計	519 席

【投票窓口数】

施設名	場所	投票窓口数（うち自動発払窓口数）
第 1 投票所	メインスタンド 1 階	45(7) 箇所
第 2 投票所	メインスタンド 2 階	6 箇所
特別観覧席	メインスタンド 3 階	12(1) 箇所
第 3 投票所	メインスタンド南側	3 箇所
サイクル 1 階	サイクルシアター 1 階	2(2) 箇所
サイクル特別観覧席	サイクルシアター 2 階	5(3) 箇所
来賓席	サイクルシアター 3 階	2(1) 箇所
外向前売発売所	競輪場西側	4(1) 箇所
レク投票所	レクリエーションセンター 1 階	4(4) 箇所
レク 3 階	レクリエーションセンター 3 階	2 箇所
合計		85(19) 箇所

n トイレ

洋式トイレの設置数は、和式トイレと比較すると若干上回っているが、設置数は十分とはいえない。また、温水洗浄便器の設置数も少ない。

【便器設置数】

施設名	男性用トイレ			女性用トイレ		
	和式	洋式 (温水洗 浄便器 なし)	洋式 (温水洗 浄便器 あり)	和式	洋式 (温水洗 浄便器 なし)	洋式 (温水洗 浄便器 あり)
西側無料休憩所	1		1	1		2
レクリエーションセンター 1, 2 階	2		3	3		3
レクリエーションセンター 3 階	1			2		
サイクルシアター1 階	1	1	2	2		2
サイクルシアター 2 階特別観覧席	1		2	1		1
サイクルシアター 3 階来賓席	1		1	1		1
メインスタンド 特別観覧席	1			1		

o 駐車場

本場開催や場外開催の場合、来場者数が限られるため比較的近い第1駐車場や第3駐車場、多目的広場駐車場への駐車が多いが、多目的広場駐車場が満車になるのは、GⅢの記念競輪開催時ぐらいである。北側駐車場は不便さから利用がほとんどされていない。



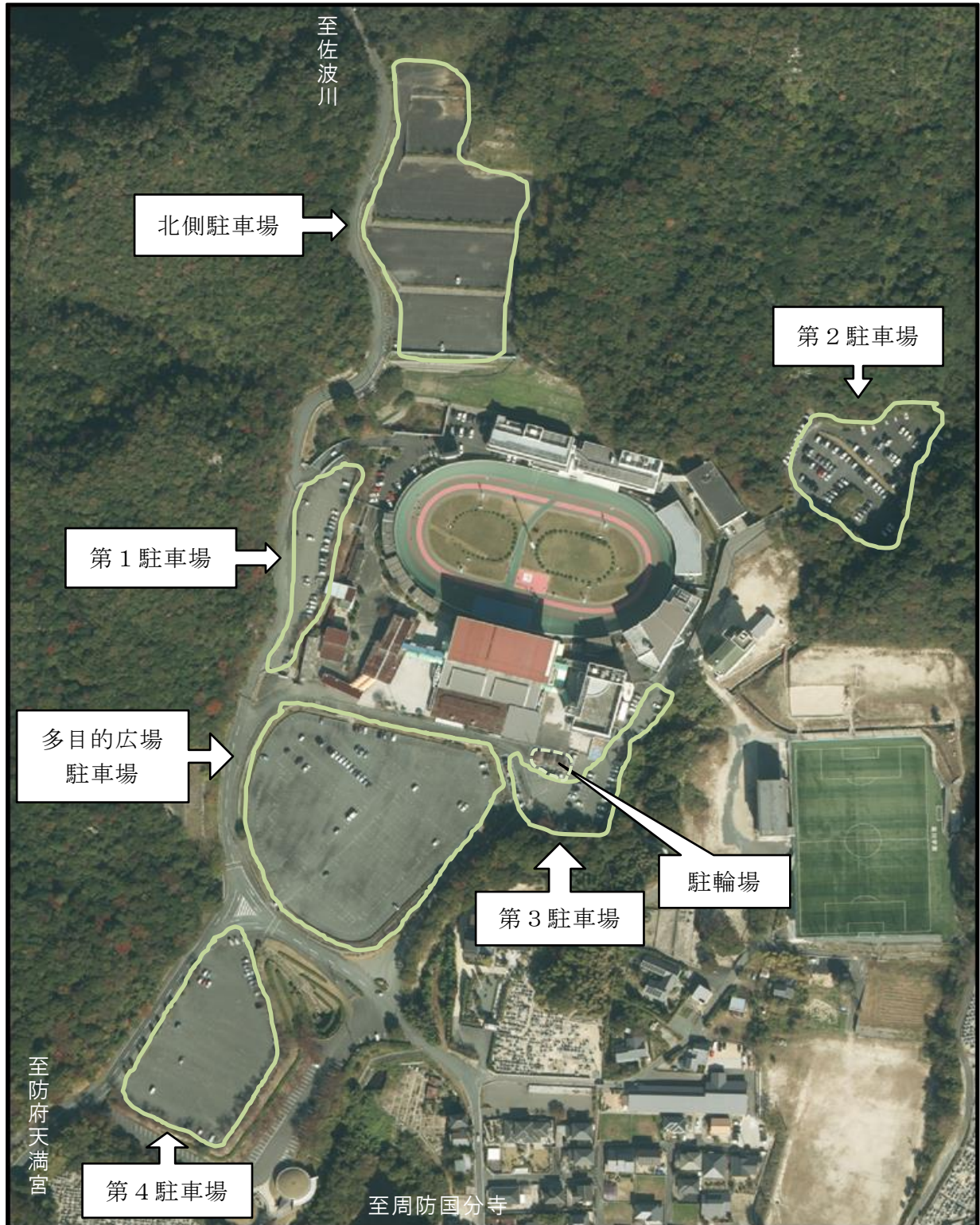
【駐車場概要】

名称	面積	収容台数	備考
第1駐車場	2,400 m <sup>2</sup>	118 台	
第2駐車場	3,759 m <sup>2</sup>	162 台	関係者用
第3駐車場	2,700 m <sup>2</sup>	97 台	
第4駐車場	4,100 m <sup>2</sup>	251 台	



北側駐車場	8,463 m <sup>2</sup>	380 台	
多目的広場駐車場	5,500 m <sup>2</sup>	370 台	
合計	30,222 m <sup>2</sup>	1,378 台	

【防府競輪場周辺状況】



## (2) 駅前サービスセンター

防府駅東側の鉄道高架下に設置された前売発売所である。借地であるため固定費がかかるが、立地条件が良いため、防府競輪の場外売上額の約 1/3 を占めている。専用場外車券売場として設置されたが、建築後 20 年以上経過しており老朽化が進んでいる。

### ① 概要

施設名：防府競輪場前売専用場外車券売場「駅前サービスセンター」

所在地：山口県防府市天神一丁目 1 番 30 号

竣工年：1997 年（平成 9 年）

管理施行者：防府市

駐車場収容台数：26 台

敷地面積：1,332 m<sup>2</sup>



### ② アクセス

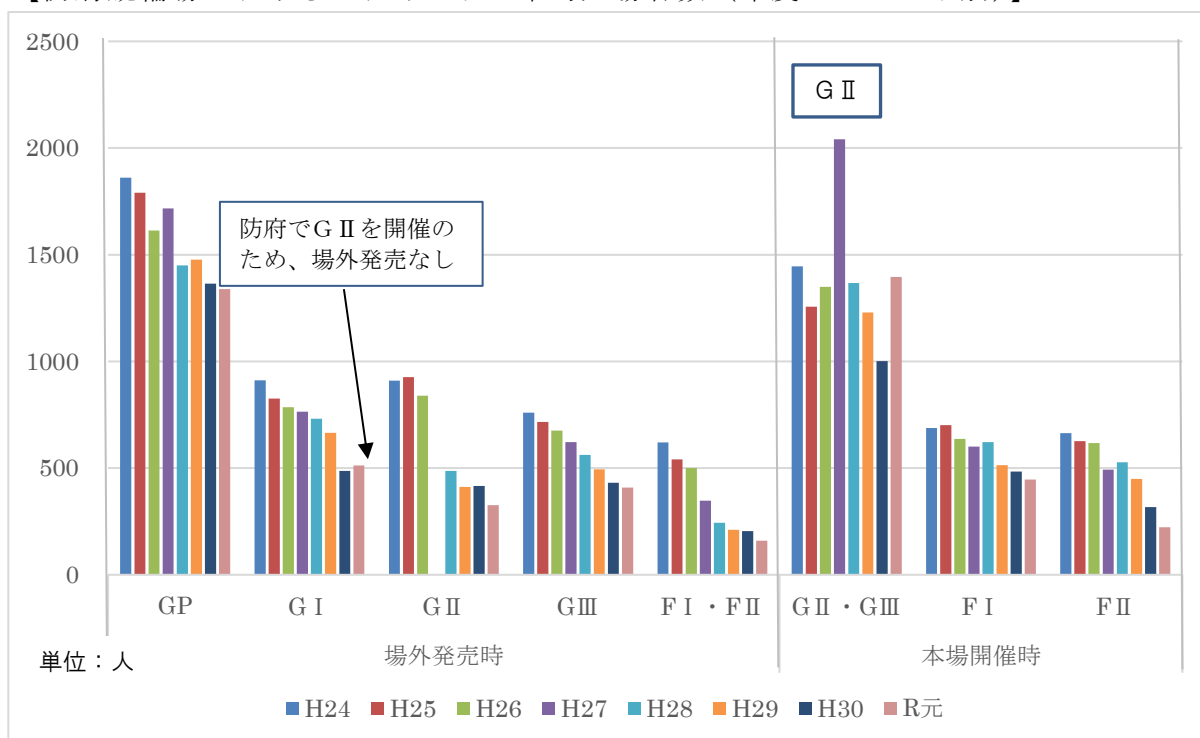
駅前サービスセンターは、JR 防府駅から東に約 400m の山陽本線の鉄道高架の下にある。駅から近いので公共交通機関でのアクセスが良く、また、南北の両側入口がそれぞれ市道に面しているため、マイカーによるアクセスも問題ない。駐車場収容台数が 26 台であるが、GI 以外の通常開催時であれば十分足りている。

## 2 経営の現状

### (1) 入場者数の推移

防府競輪場の入場者数の推移をみると、経済環境の変化やレジャーの多様化のほか、インターネット投票等への需要移行とも相まって下降線を辿っている。年間 330 日程度は「G III 以下の場外発売」または「F I 以下の本場開催」であり、それらの令和元年度の 1 日の平均入場者数はいずれも 500 人を下回っている。

【防府競輪場における 1 日あたりの平均入場者数（年度・グレード別）】



#### ※「レースのグレード」について

全ての競輪のレースは、上から GP(グランプリ)、G I、G II、G III、F I、F II の順で 6 つのグレードに格付けされている。

GP: 毎年 12 月 30 日に開催される競輪界最高峰のレース。その年の G I 優勝者や賞金獲得上位選手から 9 名が選出され、1 レース限りで最強王者を決定する。

G I: S 級上位選手が参加するレースで、優勝者は GP 出場権を得ることができる。2 月の全日本選抜競輪を始め、全 6 レースがある。

G II: S 級選手により開催され、3 月のウィナーズカップを始め、全 4 レースがある。

G III: 記念競輪とも呼ばれ、毎年各競輪場 1 回開催される。S 級選手によるレース。

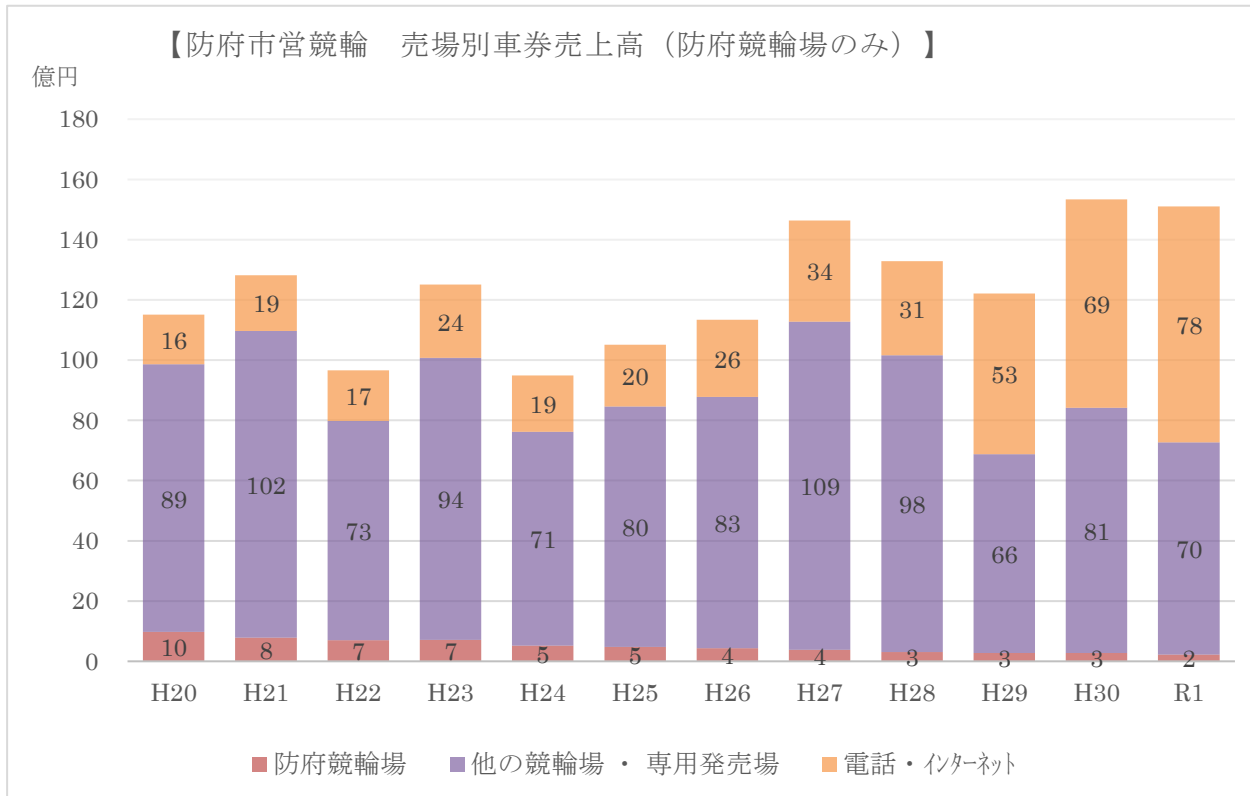
F I: S 級選手のレースと A 級(1、2 班)選手のレース。

F II: A 級(1、2、3 班)選手によるレース。

## (2) 車券売上

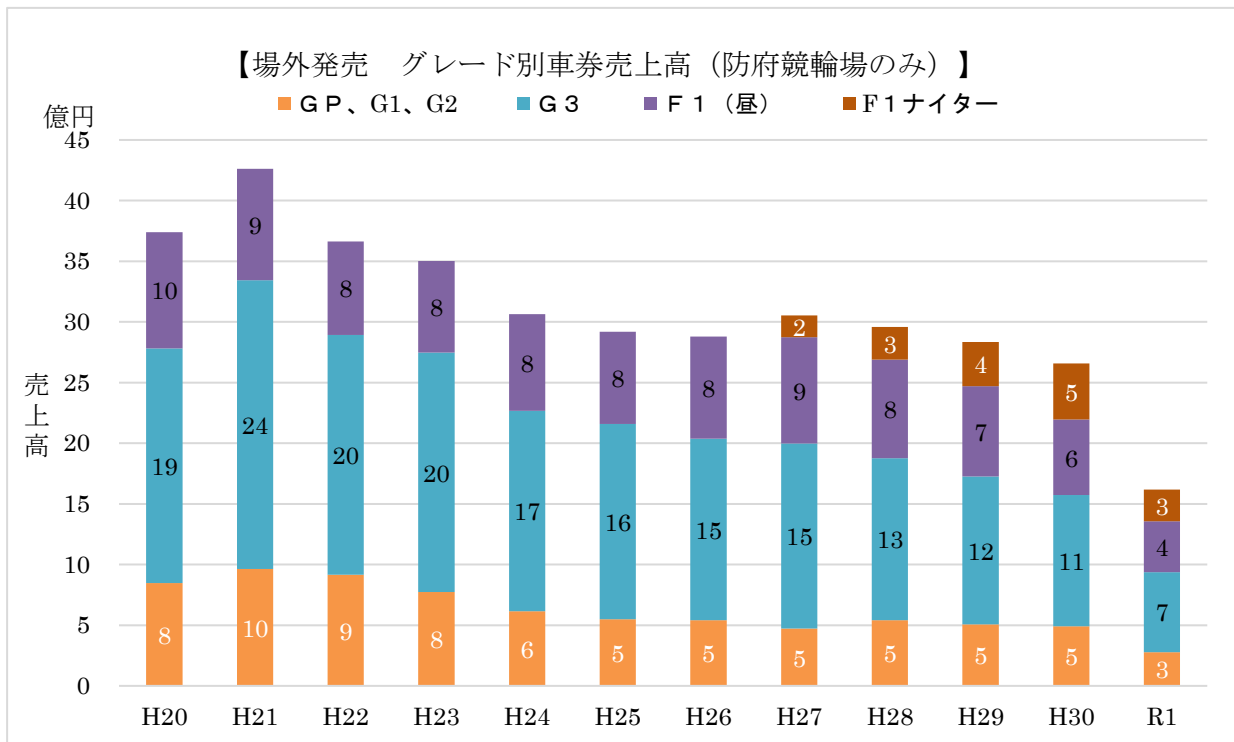
### ① 本場開催での売上

車券売上の推移について、次ページのグラフ【防府市営競輪 売場別車券売上高（駅前SC含む）】で売場別の売上高を示しているが、過去10年では例外はあるが少しずつ増加している。この傾向は、防府競輪だけでなく、全国の競輪や競艇などの公営競技全般でも同様である。防府競輪場本場での売上は、インターネット投票などの普及により下がっており、総売上げのわずか2%しかない。



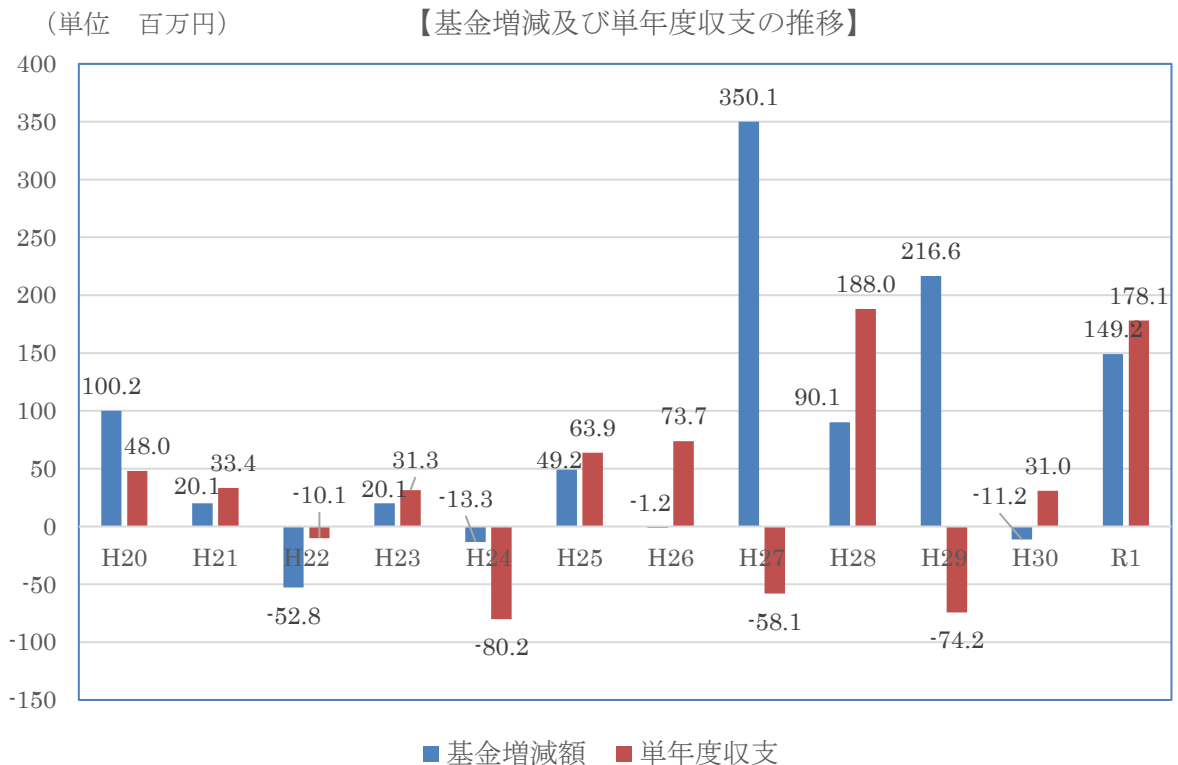
### ② 場外開催での売上

他場で開催する競輪については、防府競輪場及び駅前サービスセンターにおいて、年間約270日（令和元年度）販売している。防府競輪場での売上については、次ページのグラフ【場外発売 グレード別車券売上高（防府競輪場のみ）】のとおりである。平成27年に一時的に増加しているものの、年々減少し続け、令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大により3月は開催出来なかったため、大幅に減少している。

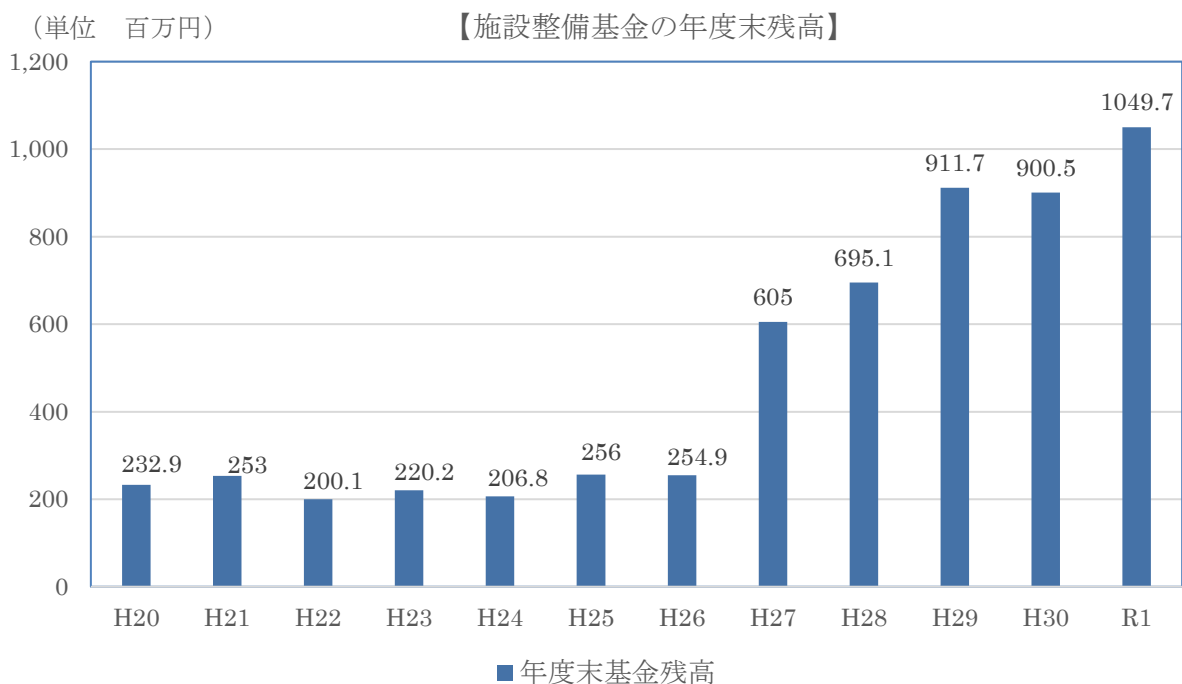


(3) 収支及び施設整備基金への積立

以下の2つのグラフは、防府競輪の収支と施設整備基金への積立の推移を示している。単年度収支については、赤字の年度もあるが、施設整備基金については、約10年の期間で約8億円の基金を積立てることができた。







#### (4) 市財政への貢献

平成 20 年以降は、「平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨」の被災地の復興を支援するため、平成 22 年 2 月に『中国・九州北部豪雨災害復興支援競輪』を開催し 9 千 6 百万円を一般会計へ繰出しているが、これ以降繰出しは行っていない。

### 3 外部要因による環境変化

外部要因による防府競輪を取り巻く環境変化について、以下で触れることとする。

#### (1) 新型コロナウイルス感染症による環境変化

令和 2 年に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症による「新しい生活様式」は、人々の生活スタイルまで変化させているが、インターネットでの売上げが以前から好調であったグレードや時間帯以外へ拡大している傾向が出ており、人々の消費性向が変化していると考えられる。

#### (2) 自転車を取り巻く環境変化

自転車の活用を総合的かつ計画的に推進する「自転車活用推進法」が平成 29 年 5 月 1 日に施行された。山口県においても「やまぐち自転車活用推進計画」が令和元年 12 月に策定され、自転車活用の推進が図られている。また、令和 3 年に開催が延期された東京オリンピック 2020 でも自転車競技が実施されることとなっており、健康志向の高まりと相まって、サイクルスポーツへの注目度が高まっている。

## 4 防府競輪の課題

これまで確認した現状から、防府競輪の課題について、以下の3つの項目でまとめた。

### (1) 競輪場のイメージ刷新

令和2年4月に30歳代から50歳代までの防府市在勤の一般女性に対して実施したアンケート結果によると、防府競輪場に対するイメージとして、「建物が古い、汚い」「男性ばかりで入りづらい」など、マイナスイメージが目立った。

マイナスイメージは、老朽化した施設の外観から受けるものや70年間を経る中で脈々と作り上げられてきた漠然としたものもあると考えられる。市民に親んでもらえる競輪場にするためには、抜本的なイメージの転換が必要である。

### (2) 安心・安全・快適な集客施設

#### ① 施設の老朽化、耐震性

メインスタンドは、昭和42年に、コーナースタンドは昭和24年、41年と44年に整備されており、老朽化による維持管理上の問題が頻発している。また、集客施設の多くは、昭和56年の「新耐震設計法」の制定以前の建築であるため、耐震基準を満たしていないものがある。来場者の安心・安全を確保するためにも早急な対応が必要である。



#### ② 来客者に優しい施設

防府競輪場の集客施設であるメインスタンド、レクリエーションセンター及びサイクルシアターは、2階・3階があるにも関わらずエレベーターやエスカレーターが設置されておらず、来場者が上の階にある特別観覧席へ上がらない理由の1つとなっている。また、場内にはちょっとした段差も多いため、来場者の高齢化とも相まって転倒事故も度々報告されており、バリアフリーの対応が急務となっている。

施設の配置の面でも、広い場内に複数の集客施設や来場者サービスの要であるサービスセンター、食堂などが散在していることにより、来場者の利便性を大きく損なっていることから、施設の集約とシンプルな動線の確保が求められる。

衛生面でも、令和2年4月から施行された改正健康増進法に対応する分煙対策及び多目的トイレ、温水洗浄便器の設置など、誰もが快適に利用できるトイレの整備が必要である。



### ③ 新型コロナウイルス感染症への対応

令和 2 年に世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、未だ収束する見通しは立っておらず、ウイルスとの共生を見据えた対応が必要である。



### (3) 持続的な収益の確保

大規模な施設修繕等が必要な場合に備えて施設整備基金に積立てをするためには、持続的に収益を確保することが必要である。

収入面では、売上の柱がインターネット投票に移っており、その伸びが近年の経営を支えてきたが、さらに伸ばすための方策が必要である。一方、入場者数が毎年のように減少しているが、長期的な売上確保のためには、防府競輪ファンの裾野を広げ、競輪場に足を運んでその魅力を第三者に伝えてもらえる新たな競輪ファンを開拓することが必要である。

支出面では、人件費や施設管理費などの運営経費を抑えるための方策や既存施設の新たな活用や利用を検討していく必要がある。

そして、公営競技の本旨でもある市財政への貢献については、持続的に行っていくことが求められる。

## III 防府競輪活性化のコンセプト

防府競輪の現状と課題を踏まえ、以下の 3 つを防府競輪を活性化するためのコンセプトとして掲げる。

### ☞ 「交流の輪が広がる競輪場」

子供から高齢者までの幅広い世代の方々、また初めて来場される方など、誰もが気軽に足を運べる競輪場をめざす。

競輪ファン、観光客、サイクルスポーツを楽しむ人々など多様な人々が集える場

とする。

☞ 「快適で利用しやすい競輪場」

来場者に分かりやすく、安心、安全な施設となるよう必要な整備を行う。

☞ 「安定した経営を目指す競輪場」

競輪事業を取り巻く環境の変化を見据えた、柔軟な経営が重要である。将来にわたって持続可能な競輪場とするため、経営健全化を進める。

本来の公営競技の目的である市財政への貢献を行っていく。

## IV 活性化に向けた方向性と取組

3つのコンセプトに連動した、進めるべき施策の方向性及び取組について以下のとおり示すこととする。

### 1 交流の輪が広がる競輪場

コンセプトに沿った4つの方向性に従った取組を推進する。

#### (1) 明るいイメージの創出

本競輪場の特徴である「幸せます」のピンク色を基調とした場内整備や愛称の命名、地元若手選手のPRを行うなど、明るいイメージの創出に努める。

《主な取組》

- ・ 防府競輪場のイメージカラーである「幸せます」のピンク色を基調とした施設整備による明るいイメージの創出
- ・ 防府競輪場をより親しんでもらうための愛称の命名
- ・ 「おもてなし」の雰囲気づくりのための競輪場関係者への接遇教育
- ・ 競輪初心者へのレクチャーを始めとした様々な来場者のニーズに応える体制整備
- ・ 競輪場利用者でない方も利用できる飲食スペースの整備

#### (2) レクリエーションゾーンの設置

子どもや女性など幅広い年代の方が、気軽に立ち寄り、楽しめる場づくりを推進する。

《主な取組》

- ・ 「おもしろ自転車」や子供向けのキックバイク（ペダルなし二輪玩具）等の貸出
- ・ 子ども向けの自転車教室やキックバイク競技会等の開催
- ・ 競輪以外の各種イベントの開催

#### (3) サイクルスポーツの振興

交流推進や技能向上のため、アマチュアのサイクリストや自転車競技のジュニア選手などに対して支援するとともに、人と人を繋ぐ人材の育成にも努める。

《主な取組》

- ・ 市民がバンクを自転車で走る体験イベントの開催
- ・ サイクルスポーツの裾野を広げるため、ジュニア選手等の育成を行う自転車競技団体等への支援
- ・ サイクリングターミナルと連携したサイクルイベントの企画・開催
- ・ 競輪場施設内に自転車関連アニメ等のサイクルスポーツコンテンツの展示やサイクル関連イベント情報の紹介を行うサイクルスポーツブースの設置

(4) 観光資源としての活用

防府競輪場の情報発信や関係団体との連携による観光客の誘客を推進する。

《主な取組》

- ・ 防府競輪場の魅力を再発見するための写真撮影会などの開催
- ・ 防府観光コンベンション協会等と連携した競輪体験ツアーなどの企画についての検討
- ・ 地元選手及び防府競輪場関連グッズの開発・活用

2 快適で利用しやすい競輪場

コンセプトに沿った3つの方向性に従った取組を推進する。

(1) 老朽化施設の整備

老朽化した施設の改修等を実施し、来場者に快適な空間を提供する。

《主な取組》

- ・ V 施設整備 参照

(2) 来場者に分かりやすい施設

来場者の動線の最適化を図るとともに、サイン等により分かりやすい競輪場の整備を行う。

《主な取組》

- ・ V 施設整備 参照

(3) 安心・安全な施設

来場される方の利便性に配慮したバリアフリー、ユニバーサルデザインによる施設整備を行う。

また、新型コロナウイルス感染症の感染対策も行う。

《主な取組》

- ・ 段差がある箇所へのスロープ等の設置や複数階の施設へのエレベーターの設置、多目的トイレの設置
- ・ 新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」の実践例や、競輪業界が策定した「感染拡大予防ガイドライン」に沿った感染防止対策の実施

### 3 安定した経営を目指す競輪場

コンセプトに沿った4つの方向性に従った取組を推進する。

#### (1) 効率的な事業運営

運営コストの見直しのため、新たな業務委託の検討などに取組む。

また、使用頻度の低い施設の有効利用を図る。

《主な取組》

- ・ 業務を外部委託した場合の経費削減効果の検証
- ・ 施設整備による集客施設の集約による運営経費の削減
- ・ 本場開催のみで使用する施設等、使用頻度が低い施設の有効利用

#### (2) ファン獲得の戦略

場内において、競輪の魅力を分かりやすく伝えるための様々な方法を実施するとともに、地元のスター選手のPRや魅力ある競輪情報を発信することにより、新たなファン獲得に努める。

《主な取組》

- ・ 地元スター選手のテレビ番組等への出演
- ・ SNS等による競輪の魅力発信
- ・ 生の競輪を観ることが出来る本場開催日数の引上げ

#### (3) 車券売上アップの方策

本場開催の形態や投票方法などの見直し、来場者へのサービス充実などによる売上アップを図る。

《主な取組》

- ・ インターネット投票の売上を伸ばすための防府競輪独自の映像・番組制作、キャンペーン等の企画
- ・ キャッシュレス投票システムの導入による車券購入者へのサービス提供

#### (4) 市財政への貢献

安定した収益を確保した上で、市財政への貢献を行っていく。

《主な施策》

- ・ 一般会計への繰出しを行う。

## V 施設整備

### 1 施設整備の方向性

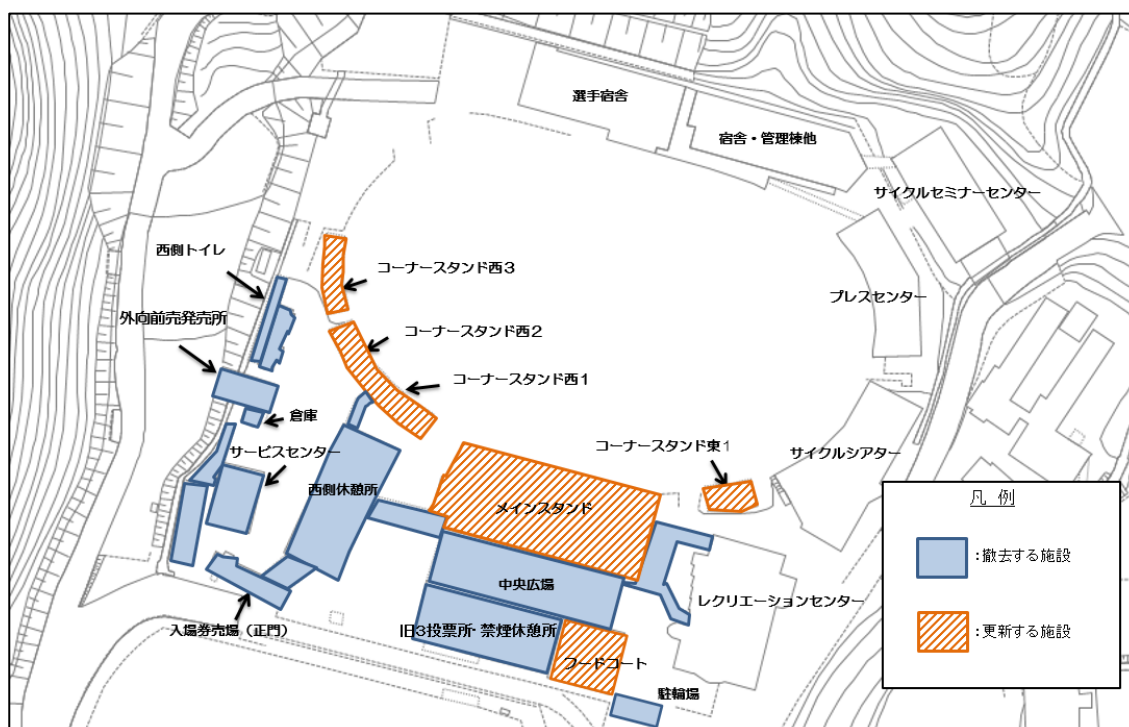
- ・新耐震基準以前に建築され老朽化が進んだ施設、または、今後使用しない施設であって、運営上支障がある場合は撤去する。
- ・有効利用が可能な施設は継続して使用する。
- ・撤去した施設の機能を他で補完することができない場合は更新する。
- ・施設管理上または経営戦略上、新たに整備することが適当と認められる場合に限り整備する。
- ・既存施設の維持管理を適切に行いながら、長寿命化に向けて計画的に施設改修を行っていく。

### 2 各施設の整備内容

#### (1) 撤去する施設

対象施設
<ul style="list-style-type: none"><li>・中央広場</li><li>・旧第3投票所</li><li>・禁煙休憩所</li><li>・正門</li><li>・サービスセンター</li><li>・西側休憩所</li><li>・倉庫</li><li>・外向前売発売所</li><li>・西側トイレ</li></ul>

#### 【撤去・更新する施設】





(2) 更新する施設

対象施設

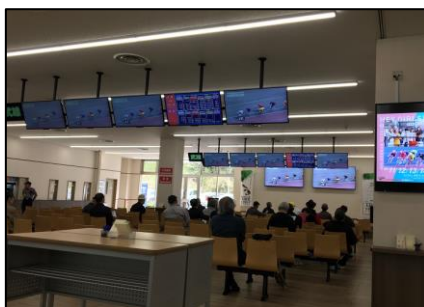
- ・メインスタンド
- ・コーナースタンド（東1、西1、西2、西3）
- ・フードコート

〈メインスタンドの想定規模〉

階数：3階建て、延床面積：約3,000㎡

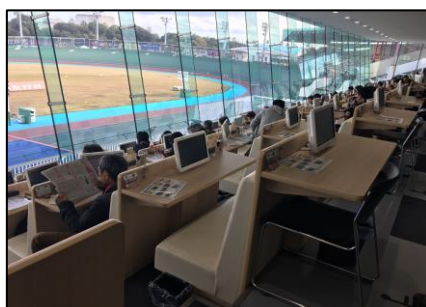
《イメージパース》

**1階**：インフォメーション、モニター観覧席、投票所、サイクルスポーツブース、エレベーター、トイレ、多目的トイレ、授乳室、喫煙室、非常用発電機、無停電装置、関係者控室、倉庫



〈武雄競輪場〉

**2階**：観覧席、投票所、ドリンクバーコーナー、トイレ、喫煙室、倉庫



〈別府競輪場〉

**3階**：開催執務委員長室、審判室、実況席、映像調整室、来賓室、計算センター、トイレ、倉庫



(3) 新たに整備する施設

対象施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションゾーン（平面舗装、器具倉庫、トイレ等）</li> </ul>

(4) 継続使用する主な施設

施設名称	既存用途	今後の用途
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルシアター</li> <li>・レクリエーションセンター</li> </ul>	投票所、観覧席	競輪関係業務またはイベント等での活用 (ただし、多くの来場者が予想される場合は投票所、観覧席として使用)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手宿舎棟</li> <li>・選手管理棟</li> <li>・サイクルセミナーセンター</li> <li>・プレスセンター</li> </ul>	選手管理・管理施設等	選手管理・管理施設等

【整備後の想定配置図】



【イメージパース】

◀ 鳥観図 ▶

### 3 周辺施設の整備方針

防府競輪場周辺の見通しが悪く危険な状態となっている市道や、老朽化が進んだ工作物（旧野球場）について、場内の施設整備と歩調を合わせて必要な整備を行うため、関係機関等と調整をしていく。

